

火砕流

火砕流とは、高温の軽石や火山灰、火山ガスなどが入り混じって、高速で流れ下る現象です。そのスピードは時速100kmを超えることもあります。火砕流は厚くたまと自らの熱で一度溶け、再び冷えて固まります。こうしてできた岩石を溶結凝灰岩と呼びます。

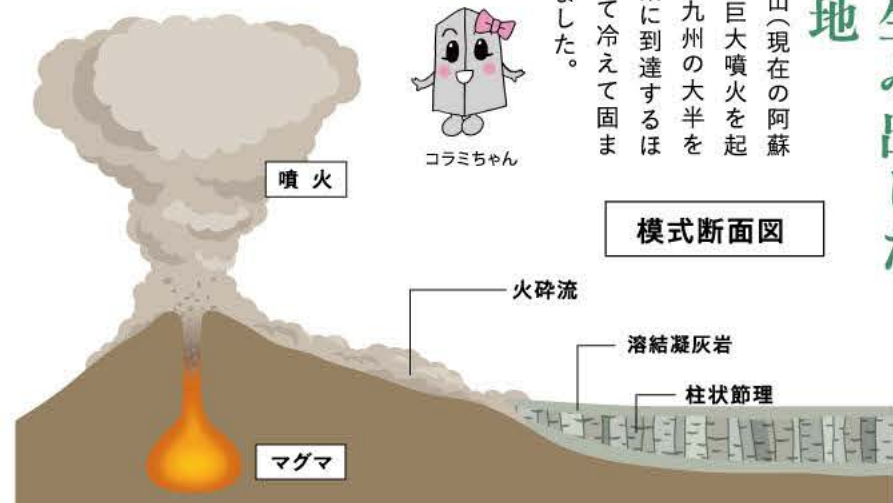


コラミちゃん

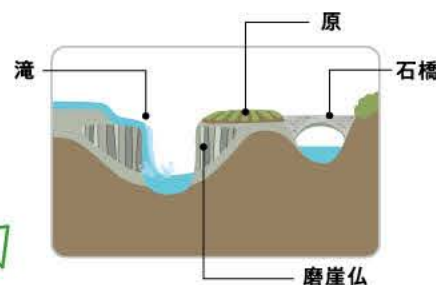
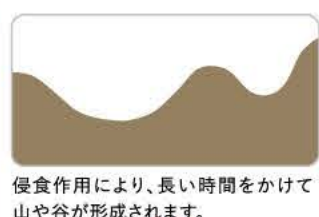
巨大火砕流が生み出した
豊後大野の大地

今からおおよそ9万年前、阿蘇火山（現在の阿蘇カルデラ）がとてつもない規模の巨大噴火を起こしました。発生した火砕流は九州の大半を覆い尽くし、遠くは本州の山口県に到達するほどのものでした。火砕流はやがて冷えて固まり、豊後大野の大地を作り上げました。

模式断面図



豊後大野の地形の成り方



ふたたび谷が削られ、柱状節理には滝が形成され、崖には磨崖仏が、深い谷には石橋が造られました。また削り残された台地は「原（はる）」と呼ばれ、耕作地に利用されています。

おおいた豊後大野ジオパークのテーマ

巨大火砕流から9万年 いのち 生命をつむぐ豊後の水と大地の彩り

豊後大野の大地は、今からおおよそ9万年前に起きた阿蘇火山の巨大噴火による火砕流に埋め尽くされました。その後、やがてそこに水が流れ、命が生まれ、豊かな大地がよみがえりました。水と大地は命あるすべての源であり、そこで営まれる「生活=いのちき*」とともに支え合い、繋がっています。そのことを「彩り」という言葉で表現しました。

*生業、生活を意味する大分方言

ジオパークとは

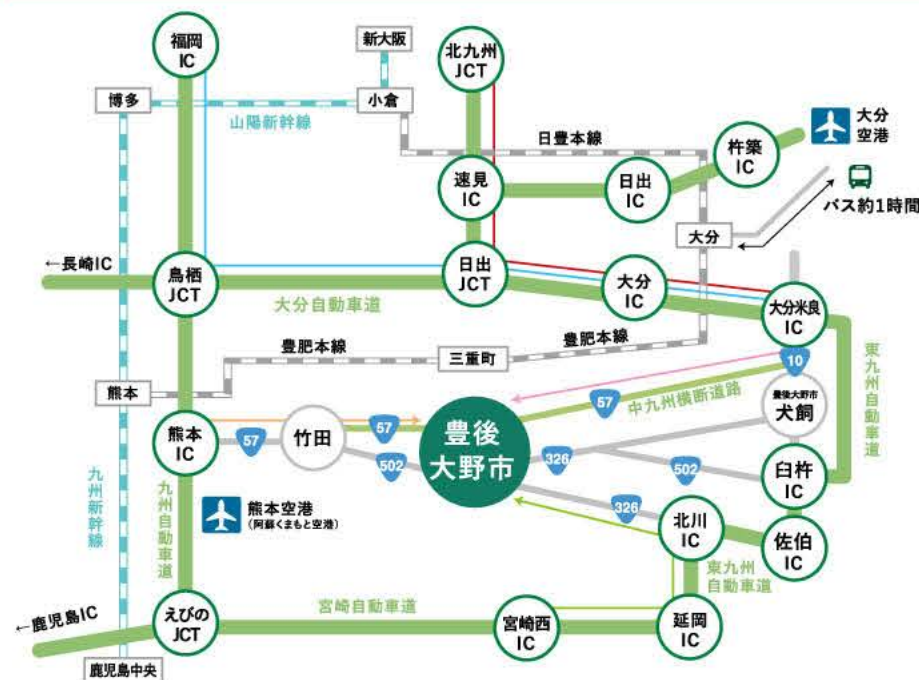
ジオパークとは、いわば「大地の公園」です。私たちの身の回りにある山や川がどうやってできたのか、その成り立ちを知るとともに、そこに生きる人々の営みや文化を楽しむながら学ぶことができる場所です。現在、日本全国で46地域がジオパークに登録されており、そのうち9地域はユネスコの世界ジオパークとなっています（2023年2月現在）。

豊後大野市はジオパーク活動を推進しています。



柱状節理くん

豊後大野市までのアクセス



公共交通機関（各見どころは三重町駅ほかJR豊肥本線沿線に点在しています。）

博多駅	JR特急で約2時間	大分駅	JR豊肥本線で約50分	三重町駅
小倉駅	JR特急で約1時間20分			
宮崎駅	JR特急で約3時間			
大分空港	空港バスで約1時間			
熊本駅	JR特急で約2時間30分	豊後竹田駅 (竹田温泉花水月)	JR豊肥本線で約25分	
熊本空港	特急バスで約2時間			



車

福岡	大分道経由で約2時間30分	大分米良IC	国道10号・ 中九州横断道路で約40分	豊後大野市 三重町
北九州	東九州道経由で約1時間30分			
宮崎	東九州道経由で約1時間30分	北川IC	国道326号で約1時間	
熊本	国道57号・国道502号で約2時間30分			

おおいた豊後大野ジオパークガイド

ガイドのお申込み・お問い合わせは
おおいた豊後大野
ジオパークガイド事務局
TEL.080-2708-7809

ガイドはおまかせください！



お問い合わせ

おおいた豊後大野
ジオパーク推進協議会
(豊後大野市商工観光課内)
〒879-7198
大分県豊後大野市三重町市場1200番地
TEL.0974-22-4089
<https://bungo-ohno.com/>

ホームページはこちら



発行：2025年10月

おおいた豊後大野ジオパーク

Oita Bungoono Geopark

G E O S I T E M A P

ジオサイトマップ

よみがえる大地の物語

今からおおよそ9万年前、阿蘇火山の破局的な大噴火により、巨大な火砕流がすべてを覆いつくしました。その痕跡を今に残す荒々しくも美しい大地と、そこに降りそそぐ恵みを人々が巧みに活かして育んだ、特有の文化。ここには体で感じ、心に響く、再生のものがたりがあります。さあ、豊後大野市に出かけて、ここにしかないものがたりを紐解きませんか？好奇心の先に、大切な何かが見つかります。



巨大火砕流の痕跡

A-1 原尻の滝



約9万年前の阿蘇火山の巨大火砕流が冷えて固まった溶結凝灰岩にかかる高さ約20m、幅約120mの滝。



A-4 滞り峡

高さ70mに及ぶ溶結凝灰岩の崖には見事な柱状節理がみられる。谷底には約1,500万年前の岩石が露出。



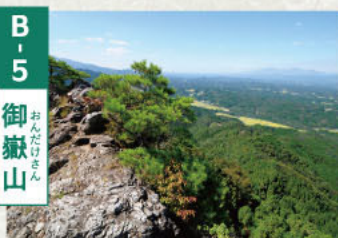
B-1 川上溪谷

奥岳川の最上流部に位置し、河床には白っぽい花崗岩が露出。絶滅危惧種に指定された植物も自生。



B-6 白山溪谷

夏はホタルが乱舞することで知られる清流で、阿蘇火砕流によって水没した稲積水中鍾乳洞もある。



B-5 御嶽山

周辺の岩は太平洋の海底でできた岩石がプレートの動きで運ばれてきたもの。山頂からの眺めは絶景。



B-3 手取蟹戸

およそ1億年前の地層が地殻変動で大きく傾いて河床に露出。蟹も流されるほどの急流と言われる。



B-2 祖母・傾山系

日本百名山の一つに数えられる祖母山から連なる山々は、生物の宝庫としてユネスコエコパークにも登録。



九州屈指の河川である大野川は阿蘇火砕流で覆われた大地を侵食し、豊かな穀倉地帯を作り出した。



A-5 松尾の埋没木

近くの谷底から掘り出された巨木の幹は、阿蘇火砕流によって蒸し焼きにされたため表面が炭化している。



A-2 沈黙の滝



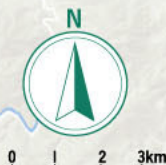
室町時代に雪舟が描いたことでも有名な滝は雄滝と雌滝からなり、明治時代には水力発電所も造られた。



A-3 岩戸の景観



トンネルが掘られた崖は、下半分が阿蘇火山3回目の火砕流、上半分が4回目の火砕流でできている。



C-2 宮迫東・西石仏



東西2カ所の磨崖仏はいずれも阿蘇火砕流の溶結凝灰岩に彫られたもので、平安時代後期の作と推定。



C-3 柴北熊野社



社殿の裏にそびえる岩壁に大きく「熊野宮」の文字が彫られている。崖下からは地下水が湧き出す。



C-4 普光寺磨崖仏



日本最大級の磨崖仏で、約12万年前の阿蘇火山3回目の火砕流が固まった溶結凝灰岩に彫られている。



C-6 犬飼石仏

温和な表情の不動明王は約9万年前の溶結凝灰岩に彫られたもので、与謝野晶子の短歌でも知られる。



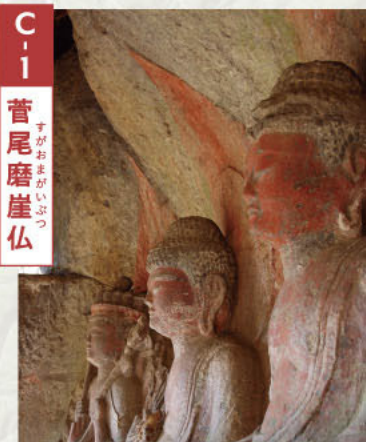
C-5 大迫磨崖仏



約60万年前のもろい岩に彫られているため、表面に貼りつけた粘土をはがれ、異様な顔つきとなっている。



C-1 菅尾磨崖仏



阿蘇火砕流の溶結凝灰岩に彫られた磨崖仏は平安時代後期の作で、国の重要文化財にも指定されている。



D-1 出会橋・轟橋



径間（アーチの幅）が日本一と日本二位の石橋が並ぶ。川の両岸には溶結凝灰岩の柱状節理がそびえる。※車両通行制限あり



大地に育まれた歴史と文化



谷を渡る虹のような橋という意味で、江戸後期に地元の家商が資金を出し合って建造。国の重要文化財。※車両通行制限あり

D-5 虹澗橋

D-2 辻河原石風呂

岩穴に薬草の蒸気を充満させて入浴する蒸し風呂の一種で、約12万年前の溶結凝灰岩に掘られたもの。



D-4 犬飼港跡

江戸時代初期に造られた川港で、切り立った硬い岩盤に溶結凝灰岩の切り石を平らに敷き詰めている。



D-3 神角寺



約1,500万年前の溶結凝灰岩の柱状節理からなる尾根上に立地する古刹（こさつ）。市内の眺望がすばらしい。



D-6 蝙蝠の滝

大野川本流にかかる高さ約10mの滝で、明治時代、舟を通すための水路とすべり台のような樋（とい）が造られた。

道の駅

道の駅 原尻の滝
☎0974-42-4140
P190台
9:00～17:30(季節時間有)

道の駅 あさじ
☎0974-64-1210
P92台
9:00～17:30

道の駅 みえ
☎0974-24-0010
P99台 9:00～18:00
(季節時間有)

道の駅 おおの
☎0974-34-3231
P82台 9:00～18:00

道の駅 きよかわ
☎0974-35-2117
P82台 7:30～18:00

ジオパーク拠点施設

豊後大野市資料館 ジオパークミュージアム
☎0974-24-0040
9:00～17:00 月曜、祝日